

木造化に係る住宅・建築物のリーディングプロジェクトを広く民間等から提案を募り、支援を行うことにより、総合的な観点からサステナブルな社会の形成を図る。

## （１）多様な用途の先導的木造建築物への支援

先導的な設計・施工技術が導入される実用的で多様な用途の木造建築物等の整備に対し、国が費用の一部を支援。

### ● 補助対象事業者

民間事業者、地方公共団体等

### ● 補助額

#### 【調査設計費】

先導的な木造化に関する費用の1/2以下。

#### 【建設工事費】

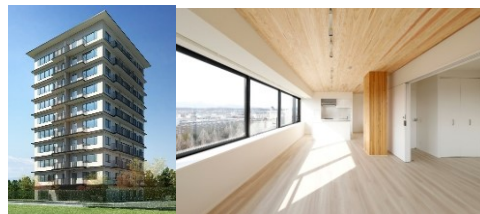
木造化による掛増し費用の1/2以下。  
(ただし算出が困難な場合は建設工事費の15%)

※ 補助額の上限は原則合計5億円

### ● 対象プロジェクト

下記の要件を満たす木造建築物  
(公募し、有識者委員会により選定)

- ① 構造・防火面で先導的な設計・施工技術の導入されるもの
  - ② 使用する材料や工法の工夫により整備コストを低減させるなどの、木材利用に関する建築生産システムについて先導性を有するもの
  - ③ 主要構造部に木材を一定以上使用するもの
  - ④ 建築基準法上特段の措置を要する一定規模以上のもの
  - ⑤ 先導的な技術について、内容を検証し公表するもの
  - ⑥ 建築物及びその情報が、竣工後に多数の者の目に触れると認められるもの
- ※特に普及性に優れたプロジェクトを優先採択する「普及促進枠」を設定（令和2年度～）



CLTを用いた10階建て共同住宅



木質耐火部材を用いた大規模庁舎

## （２）実験棟整備への支援と性能の検証

CLT等新たな木質建築材料を用いた工法等について、建築実証と居住性等の実験を担う実験棟の整備費用の一部を支援。

### ● 補助対象事業者

民間事業者、地方公共団体等

### ● 補助額

【調査設計費及び建設工事費】  
定額（上限30百万円）



CLT（直交集成板）パネル



CLT工法による実験棟

### ● 対象プロジェクト

下記の要件を満たす木造の実験棟  
(公募し、有識者委員会により選定)

- ① 木材利用に関する建築生産システム等の先導性を有するもの
- ② 国の制度基準に関する実験・検証を行うもの
- ③ 公的主体と共同または協力を得た研究の実施
- ④ 実験・検証の内容の公表
- ⑤ 実験・検証の一般公開等による普及啓発等

《実績》 合計115件（H22～26年度までの前身事業の実績を含む。取下げ分を除く）  
（近年の年度別） H27:5件、H28:20件、H29:9件、H30:11件、R1:8件、R2:12件、R3:11件

カーボンニュートラルの実現に向け、炭素貯蔵効果が期待できる木造の中高層住宅・非住宅建築物について、優良なプロジェクトに対して支援を行う。

## 事業概要

### 【補助要件】

次の①～⑤を満たすもの

①主要構造部に木材を一定以上使用する木造の建築物等  
（木造と他の構造との併用を含む）

②耐火構造又は準耐火構造とすることが求められるもの

③不特定の者の利用又は特定多数の者の利用に供するもの

（劇場、病院、ホテル、共同住宅、学校、児童福祉施設、美術館、  
百貨店、商業施設、展示場、事務所等）

④多数の利用者等に対する木造建築物等の普及啓発に関する取組がなされるもの

⑤省エネ基準に適合するもの（公的主体が事業者の場合は、  
ZEH・ZEBの要件を満たすもの）

【補助事業者】 民間事業者等

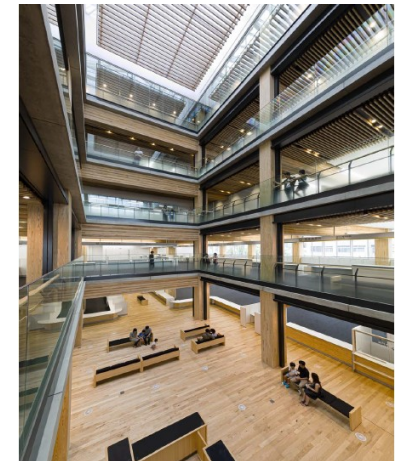
### 【補助対象費用】

- ・調査設計計画費のうち木造化に係る費用
- ・建設工事費のうち木造化による掛かり増し費用相当額

【補助率・上限額※】 1/3（上限300百万円）

※実際の運用において変更する場合がある。

### ＜補助対象となる建築物イメージ＞



中層の木造の建築物（事務所）のイメージ